

※本様式の入力にあたっては、Windows10かつExcel2013以降のバージョンを御使用くださるよう、お願いいたします。

専任教員数を入力すると研究業績数の上限が表示されます。小規模の組織や専任教員が「0人」になる場合などの理由がある場合には、機構までお問合せください。

第3期 研究業績説明書 イメージ

法人番号 ①	XX	法人名	〇〇大学	学部・研究科等番号 ②	X	学部・研究科等名	〇〇学部・〇〇研究科	専任教員数 ③	[人]	提出できる研究業績数の上限 ④	[件]
--------	----	-----	------	-------------	---	----------	------------	---------	-----	-----------------	-----

実績報告書作成要領の29ページに記載の番号(1~90まで)を入力してください。

冒頭に「国立大学法人」、「大学共同利用機関法人」は不要です。

原則、現況分析単位として登録してある組織の名称で入力してください(あまりにも長くなる場合には省略しても構いません)。

～の特色がある。したがって、～という点も考慮している。それらを踏まえ、～という点が最も重要であると考えている。また、～であり、～という判断基準で研究業績を選定している。

小区分番号を半角数字で入力すると、小区分名が表示されます。正しい小区分名となっているか、必ず御確認ください。【例】01010(哲学および倫理学関連)

2. 選定した研究業績

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ及び要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会的意義、経済的意義 ⑨	判断根拠(第三者による評価結果や客観的指標等)【400字以内。ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して選定した研究業績番号 ⑪	共同利用等 ⑫	数字、英字及び記号は半角で入力してください。						
									代表的な研究成果・成果物【最大3つまで】 ⑬						
									a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)
著者・発表者等	タイトル・表題等	発表雑誌・出版社・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)									
1	XXXX	....	〇〇〇〇の研究 本研究は、〇〇〇〇〇〇に関し、従来より課題となっていた～について、～という理論を用い、分析・解明したものである。この手法は、～という点で画期的であり、これにより～であることが明らかとなり、～することによって～できることを示すことができた。	SS		(1)は2019年度の日本〇〇学会の〇〇賞を受賞した論文である。この論文は、特に～という点で評価が高く、〇〇学会の〇〇において、「～」と言及されている。被引用回数に関しても、〇〇〇〇〇〇において、合計〇回引用されている。また、本業績に関連して、△△国際会議では「～」の演題で、××国際会議では「～」の演題で招待講演を行い、その他国内の学会等を含めると、計〇回の招待講演を行った。本業績は、当該分野のみならず、関連する△△△△の研究にも大きく貢献し、国際学術誌『▽▽▽▽▽▽』において、「～」と高く評価されている。			(1) XXX, XXX, XXX	〇〇	〇〇	〇	pp.〇-〇	2019	〇〇.〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇
2	XXXX	....	△△△△の研究 本研究は、△△△△△△について、従来まで考証されていなかった～の視点から考察したものである。本研究では、特に、～という点に着目し、定説とされていた～について、～であることを論証したものである。	S		(1)は、当該研究の中核をなす論文、(2)は、(1)で論証した～のアプローチからも明らかになった論文であり、両論文は2017年度の日本△△学会の△△賞の対象となつたものである。(3)は、(1)(2)の内容を中心に、最近の研究動向をまとめた総説であり、〇〇学会の〇〇において、「～」と言及されている。また、これらの論文等から構成される「△△△△△△の研究」について、国際学術誌『〇〇〇〇〇〇』において、「～」の書評を受けており、～という点が評価されている。	X-X-X	〇	(1) XXX	〇〇	〇〇	〇	pp.〇-〇	2017	DOIを入力する場合には、必ず半角英数字、記号で入力してください(冒頭に「https://doi.org/」、「DOI:」、「なし」などは不要です)。  DOI以外は入力しないでください。(ISSNやISBNについては「発表雑誌・出版社・会合等」欄に記載しても構いません。Q&A問3-24参照)
									(2) XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2017	
									(3) XXX	□□	□□	□□	pp.□-□	2019	

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ及び要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会、文化的意義 ⑨	判断根拠(第三者による評価結果や客観的指標等)【400字以内、ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して選定した研究業績番号 ⑪	共同利用等 ⑫	代表的な研究成果・成果物【最大3つまで】 ⑬						
									数字、英字及び記号は半角で入力してください。						
									a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)
著者・発表者等	タイトル・表題等	発表雑誌・出版社・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)									
3	XXXX	....	◇◇◇◇の研究 本研究は、従来の◇◇◇◇に関し、新たに～ ～を応用し、～ ～という技術手法を開発したものである。 これは、～で注目されている ～プロジェクトの中心的な役割を担うものであり、当該技術に基づく▽▽▽▽システムにより、～を可能とした。		SS	(1)は実用性において評価の高い論文に与えられる○○学会の○○賞を2017年度に受賞した。受賞理由は、「～」と記されている。 また、(1)で示された～という技術手法は、××新聞(2018年○月○日)、△△新聞(同年○月○日)、◇◇新聞(同年11月24日)で書評に取り上げられ、「～」等の高い評価を受けている。 当該技術は2019年に実用化され、世界120か国において製品化、普及しており、全世界の人々の生活に新たな基軸をもたらした。また、○○社の報告(報告書『○○○』2019年○月)に依れば、当該技術に基づく▽▽▽▽システムの運用による全世界の経済効果は年間75億米ドルと報じられている。			(1) XXX	○○	○○	○	pp.○-○	2018	○○.○○○○/○○○○○○
									○ (2) XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2017	△△.△△△△/△△△△△△
									(3)						
3	XXXX	....	◇◇◇◇の研究 本研究は、従来の◇◇◇◇に関し、新たに～ ～を応用し、～ ～という技術手法を開発したものである。 これは、～で注目されている ～プロジェクトの中心的な役割を担うものであり、当該技術に基づく▽▽▽▽システムにより、～を可能とした。		SS	(1)は実用性において評価の高い論文に与えられる○○学会の○○賞を2017年度に受賞した。受賞理由は、「～」と記されている。 また、(1)で示された～という技術手法は、××新聞(2018年○月○日)、△△新聞(同年○月○日)、◇◇新聞(同年11月24日)で書評に取り上げられ、「～」等の高い評価を受けている。 当該技術は2019年に実用化され、世界120か国において製品化、普及しており、全世界の人々の生活に新たな基軸をもたらした。また、○○社の報告(報告書『○○○』2019年○月)に依れば、当該技術に基づく▽▽▽▽システムの運用による全世界の経済効果は年間75億米ドルと報じられている。			○ (1) XXX	△△	△△	△	pp.△-△	2017	△△.△△△△/△△△△△△
4	XXXXX	....	◎◎◎◎の研究 本研究は、～や～ ～に課題を抱える～などが、～ ～のために◎◎◎◎の役割が重要になっている。～の開発など、～の実現につながる。これにより～という研究成果をあげた。		S	(1)については、～や～が評価され、～協会が選ぶ2018年度○○○○賞を受賞し、このほか、～会による○○○○賞及び○○○○賞も受賞した。これまで、△△△、◇◇◇などに出席するとともに、◎◎◎、□□□などのテレビや○○新聞、○○新聞、○○新聞など数多くのマスコミに取り上げられている。現在までに～ ～など数多くの企業に採用されている。			(1) XXX	○○	○○			2018	
									(2) XXX	△△	第△回△△展			2017	
5	XXXX	....	□□□□の研究 本研究は、～について、～ ～の実現を目的とし、～ができる開発のための基礎研究を行い、検証の上、□□□□の実用化を目指している。		SS	【社会、経済、文化的意義】 本研究は、～というコンセプトを～に展開するものであり、～を開発し、～に導入した結果、～を実現できることを証明した。本研究に対しては、記載の特許3件を含め、合計○件の特許が登録されている。 本研究に関連して、～や、～などの国内外の招待講演(計△件)も行っており、国際会議「▽▽▽▽」から◇◇◇Awardが授与された。			(1) XXX	○○(特許第○○号)	○○			2017.○.○	
									(2) XXX	○○(特許第○○号)	○○			2017.○.○	
									(3) XXX	○○(特許第○○号)	○○			2017.○.○	

数字、英字及び記号は半角で入力してください。

「代表的な研究成果」が3つ未満の場合でもセル結合や削除を行わないでください。

